

区域内で見られる景観

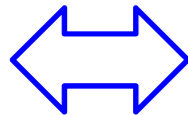
●国道113号(旧七ヶ宿街道沿道)の景観

沿道の平坦部には田畑や集落が広がり、その背景に迫る里山との一体的な農村集落景観が見られる。また、国道113号沿いには白石川の流れが近い場所もあり、国道113号を中心とし、自然景観と農村・町場の景観が交互に連続して見られる特徴的な景観が形成されている。



▲沿道の平野に広がる水田地帯

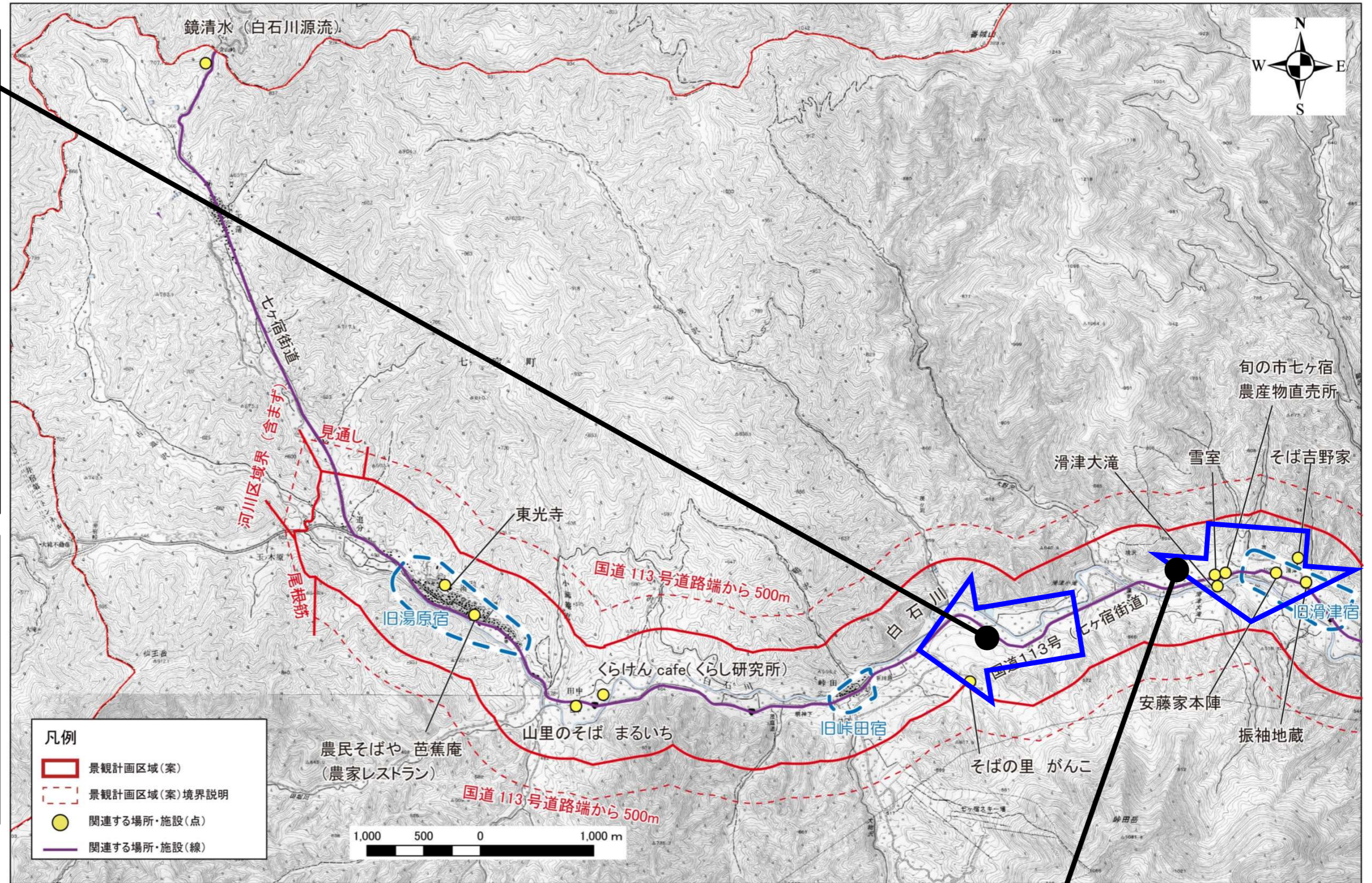
凡例



地域を象徴する景観が見られるおおよその範囲および向き



写真の撮影場所・エリアおよび写真の撮影方向



●滑津大滝と雪室

国道113号沿いに滑津大滝を望める展望台が整備され、上から大滝をみることが出来る。また、滝の近くまで降りる道も整備されているため、周囲を囲む山林と雄大な滝が創り出す自然景観が見られる。

また、展望台付近にある雪室は、雪を活用した農産物の貯蔵庫であり、積雪の多い七ヶ宿の気候風土がうかがえる。

安藤家本陣は街道沿いにある大名宿で、宿場町であった旧滑津集落の歴史性を今に残す象徴的な景観の要素となっている。



▲滑津大滝



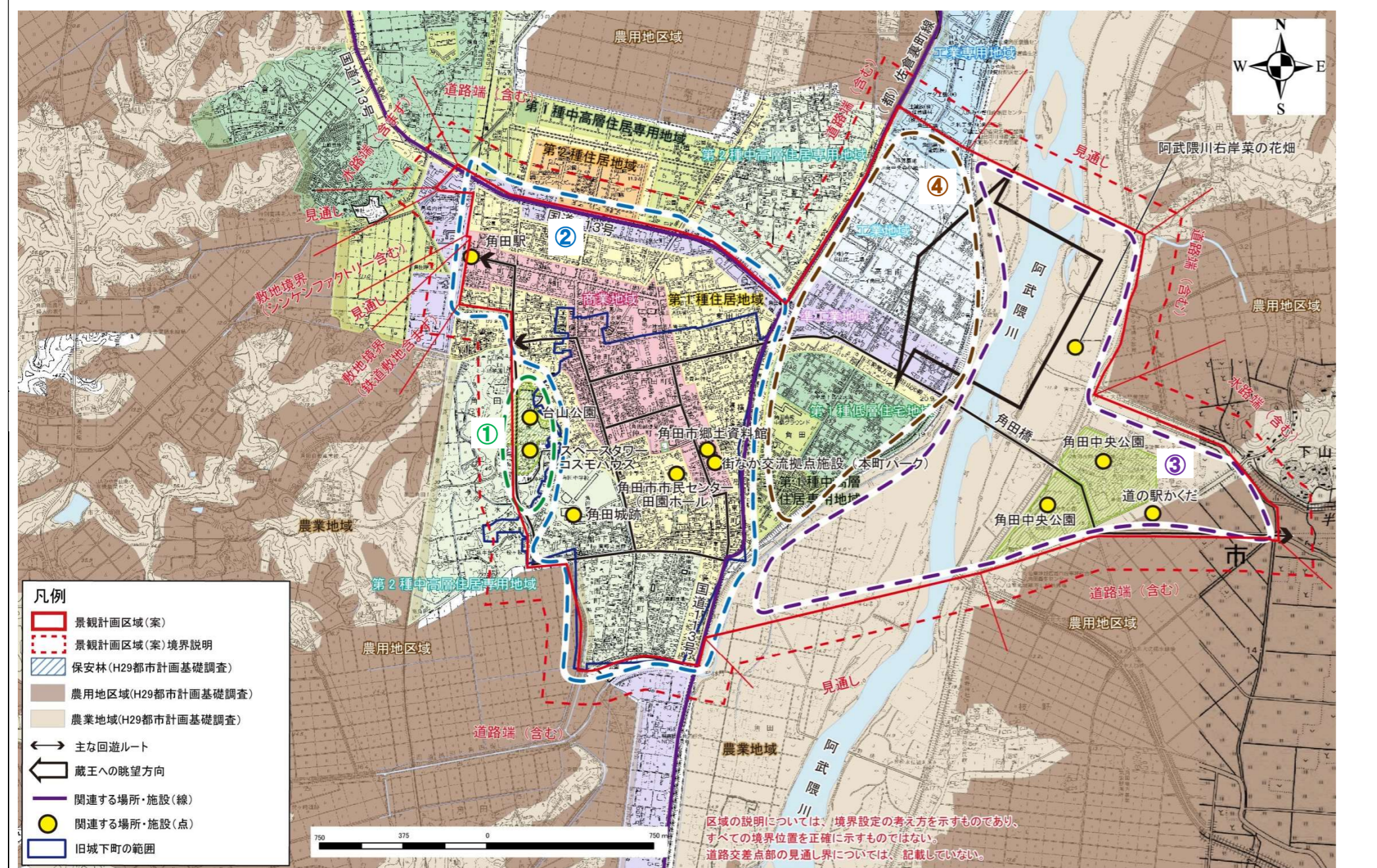
▲雪室



▲安藤家本陣

<b>区域名</b>	仙南地域広域景観計画区域	
<b>地区名</b>	角田市中心部地区	<b>当該区域を指定する目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城下町に由来する基盤を継承した角田市の中心を担う市街地で、かつ阿武隈川の水運の中継地として栄えた歴史性を継承するとともに、阿武隈川沿いに広がる市街地特性を活かし、豊かな水の流れを湛える美しい河川景観や河川沿いからの蔵王への眺望を活かした、魅力ある市街地の形成を図ることを目的とする。</li> <li>・角田市の中心部及び阿武隈川沿いにおける官民が協力・連携した景観まちづくりのきっかけづくりにつなげ、角田市らしさを育む市街地景観の形成を図ることを目的とし、景観計画区域を指定する。</li> </ul>
<b>市町名</b>	角田市	

**区域の範囲（位置図）**



**地区内で見られる景観（景観の概況）**

- 仙南地域らしさを象徴する景観
  - ・阿武隈川が緩やかに蛇行を繰り返しながら、水面と河川敷、周囲の市街地や農村集落が一体となって穏やかな景観を形成している。特に、角田中央公園から角田橋にかけては、河川敷の菜の花や桜並木が一体となり、春には遠く蔵王連峰が一体となった河川景観を望むことができる。
- 地区固有の景観
  - ・市街地は河川堤防より低く高低差がほぼ無い平野部に広がり、主に2～3階建ての建物が並ぶ市街地景観となっている。
  - ・国道113号および（都）佐倉裏町線沿いは街路樹が植えられている。
  - ・旧城下町のエリアは現在市街地となっており、角田城跡は現在高等学校となっている。
  - ・角田宇宙センターには実物大のロケットがあり、堤防などの区域内の高台から見ることができる。

**区域設定の考え方**

- 基本的な考え方
 

阿武隈川沿いに位置する歴史的な都市である角田市の核を担う中心部を対象に、景観まちづくりの観点から、景観形成を通して一体的な市街地環境の保全・形成を目指した区域を設定する。
- 個別の考え方
  - ①角田城址・台山公園を中心とした丘陵地
 

市街地の背景となる緑の景観として保全を図る必要があるため、区域に含めた。
  - ②城址の東に整備された城下町の町割を継承した歴史的な中心部から近代の玄関口を担う角田駅周辺にかけて
 

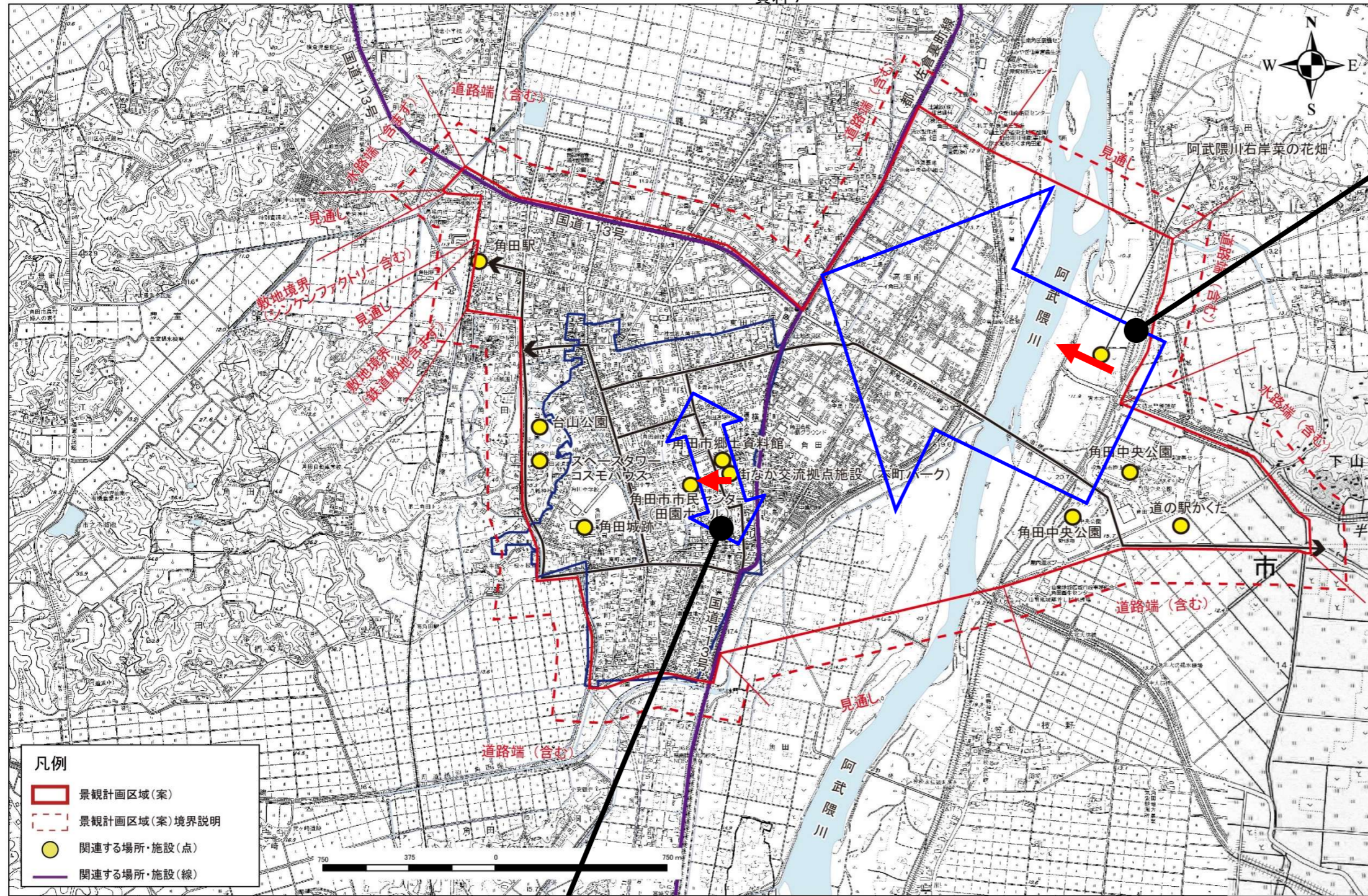
角田市の歴史性を継承しつつ、市の中心部としての賑わいある市街地環境の形成を目指した一体的な取り組みが必要であるため、区域に含めた。
  - ③阿武隈川沿いの良好な景観を活かしたスポーツ・レクリエーション拠点や賑わいの交流拠点を担う角田中央公園周辺
 

阿武隈川を挟んで中心市街地と一体的に、角田市の魅力あるまちづくりを牽引するエリアとして、また阿武隈川沿いの菜の花畑などの景観や蔵王連峰への見通しを活かした魅力ある空間づくりをめざし、一体的な景観の保全・形成を図る必要があるため、区域に含めた。
  - ④阿武隈川左岸に位置し、城下町と阿武隈川に挟まれた中島・高畑地区
 

中心部から連続する市街地で、かつ阿武隈川沿いの景観や蔵王への見通しとの調和した市街地環境の形成が必要であるため、①～③と一体で区域に含めた。

区域内で見られる景観

資料7



●阿武隈川と菜の花畑

当該地区は低平地に低層の建築物を中心とした街並みが広がり、河川堤防や角田橋などの小高い場所から阿武隈川の流れとともに市街地を望むことができる。また、河川敷には菜の花畑が広がり、春には黄色のじゅうたんが広がる。市街地の向こうには角田市と白石市を隔てる丘陵地が南北に伸び、さらにその向こうには蔵王連峰が控えている。

天候によっては遠景の蔵王連峰を望むことができ、市街地や丘陵地、阿武隈川、菜の花畑とともに角田市を象徴する代表的な景観を形成している。

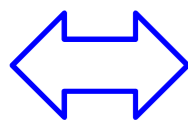


▲角田市市街地と蔵王連峰



▲阿武隈川右岸菜の花畑と蔵王連峰  
(図内赤矢印)

凡例



地域を象徴する景観が見られる  
おおよその範囲および向き



写真の撮影場所・エリアおよび写  
真の撮影方向

●旧城下町の名残が見られる街並み

市街地の中心部は、旧城下町の街割りが残り、縦長の敷地が道路沿いに並んだ街並み景観が形成されている。角田市郷土資料館は、明治から大正にかけて建築された邸宅で、街並みの歴史性を象徴する景観の要素となっている。



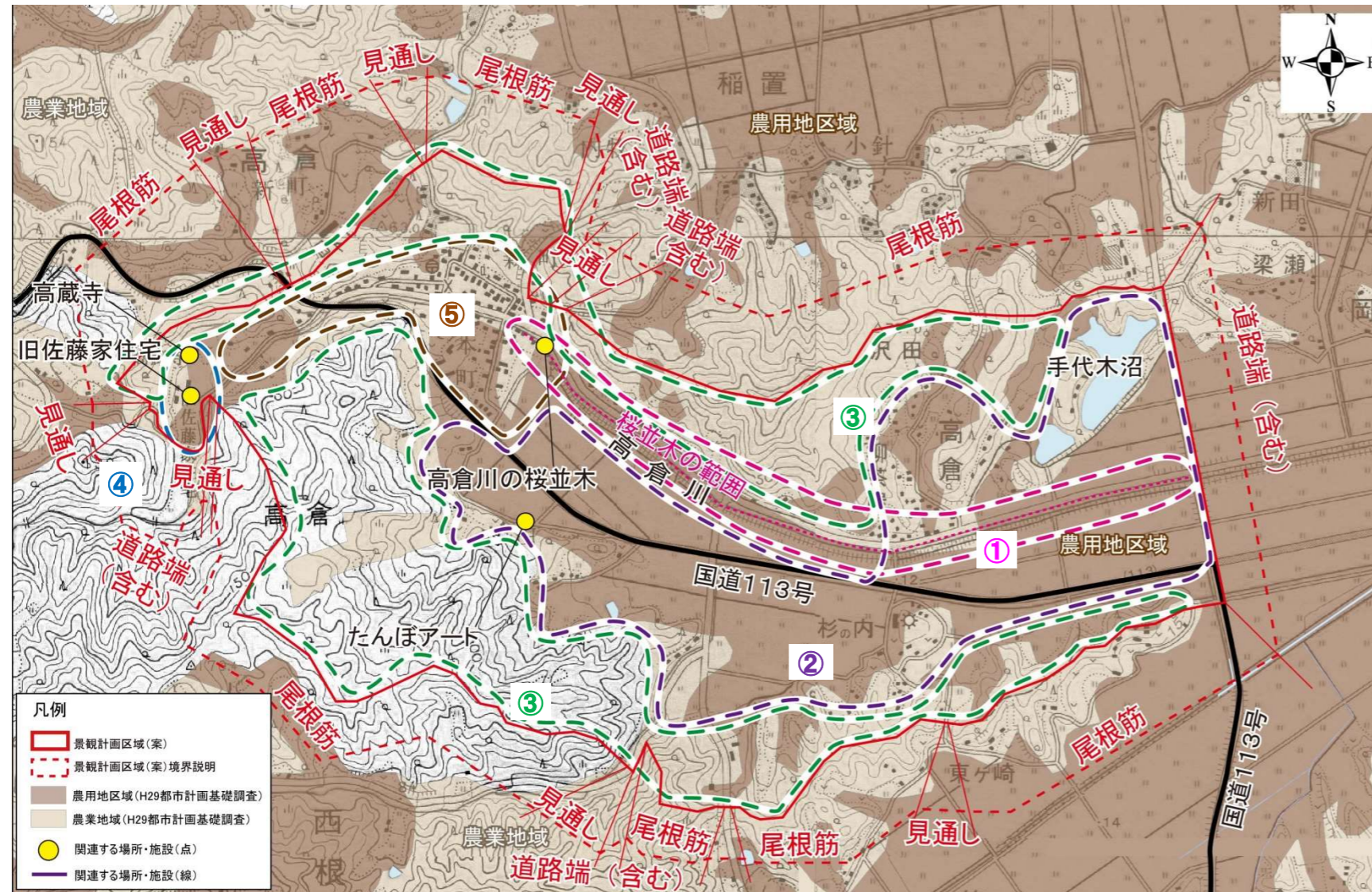
▲角田市郷土資料館



▲角田市郷土資料館本町パーク (図内赤矢印)

区域名	仙南地域広域景観計画区域		
地区名	高倉川農村集落地区	当該区域を指定する目的	・高倉川を中心に広がる穏やかな農村・里山景観と、その中で行われている地域住民による取組が作りだす景観について、これからも大切に守られ、それぞれがさらに魅力的なものとなるような景観まちづくりのきっかけづくりとすることを目的とし、景観計画区域の指定による景観の保全・形成を図る。
市町名	角田市		

区域の範囲（位置図）



※仙南地域広域景観マスタープランの修正に伴い区域を精査

地区内で見られる景観（景観の概況）

■仙南地域らしさを象徴する景観

- ・高倉川の穏やかな流れと集落の人々が農業の営みを行っている水田地帯、川沿いに植えられた桜並木と集落、里山が一体となった穏やかな農村景観が見られる。
- ・特に、国道 113 号からは、道路の両側に水田の広がりとその背後の丘陵地の山並みが見え、また道路と並行して流れる高倉川沿いに立ち並ぶ桜並木が一体となった景観が広がっている。
- ・周辺地域には高蔵寺が鎮座し、付近に高倉農村公園が整備され、憩いの場となっているなど、多様な要素による豊かな表情の農村景観が見られる。

■地区固有の景観

- ・たんぼアートや桜並木の管理等、地元住民の活動による特徴的な景観が見られる。
- ・ため池である手代木沼では、周辺整備が行われ水田と一体となった水辺景観が見られる。

区域設定の考え方

■基本的な考え方

農村集落と背後の里山からなる穏やかな農村景観の中に、地元住民による桜並木の管理やたんぼアートの取組みといった多様な景観形成の取組みが展開する。農村集落による日常の営みと農を活かした景観まちづくりの取組みを行っている高倉川沿いの農村集落において、景観のまとまりを有する範囲を対象に保全・形成を目指した区域を設定する。また、高蔵寺や高倉農村集落の中心的な集落地である西根地区も含み、地域振興に寄与する一体的な農村環境の保全・形成を目指した区域を設定する。

■個別の考え方

①桜並木が見られる高倉川

高倉川の流れと桜並木は、本地区の景観を特徴づける重要な景観資源であり、景観の保全を図る必要があるため、区域に含めた。

②里山に囲まれたまとまった水田と農村集落

国道 113 号から見る事ができる水田や農村集落景観に配慮を求めるとともに、水田等の農地、集落地やため池である手代木沼、地元住民が実施するたんぼアートや植栽活動を行っている農地を一体的に保全できるように区域を設定することにより、地域振興と農業という地域の人々の営みが生み出す景観形成を図るため、区域に含めた。

③農村集落背後の里山

高倉農村集落の外周を取り囲む丘陵地は、集落の景観の背後に広がる里山の景観として一体的に保全を図る必要があるため、区域に含めた。

④高蔵寺周辺

高蔵寺が鎮座し、付近に高倉農村公園が整備されており、集落内の大事な歴史的資源として地域の人々に親しまれているものであり、一体的な景観形成を図るため、区域に含めた。

⑤西根地区の集落地

高倉農村集落の中心的な集落地であり、一体的に景観まちづくりを進める必要があるため、区域に含めた。

●高蔵寺と高倉農村公園

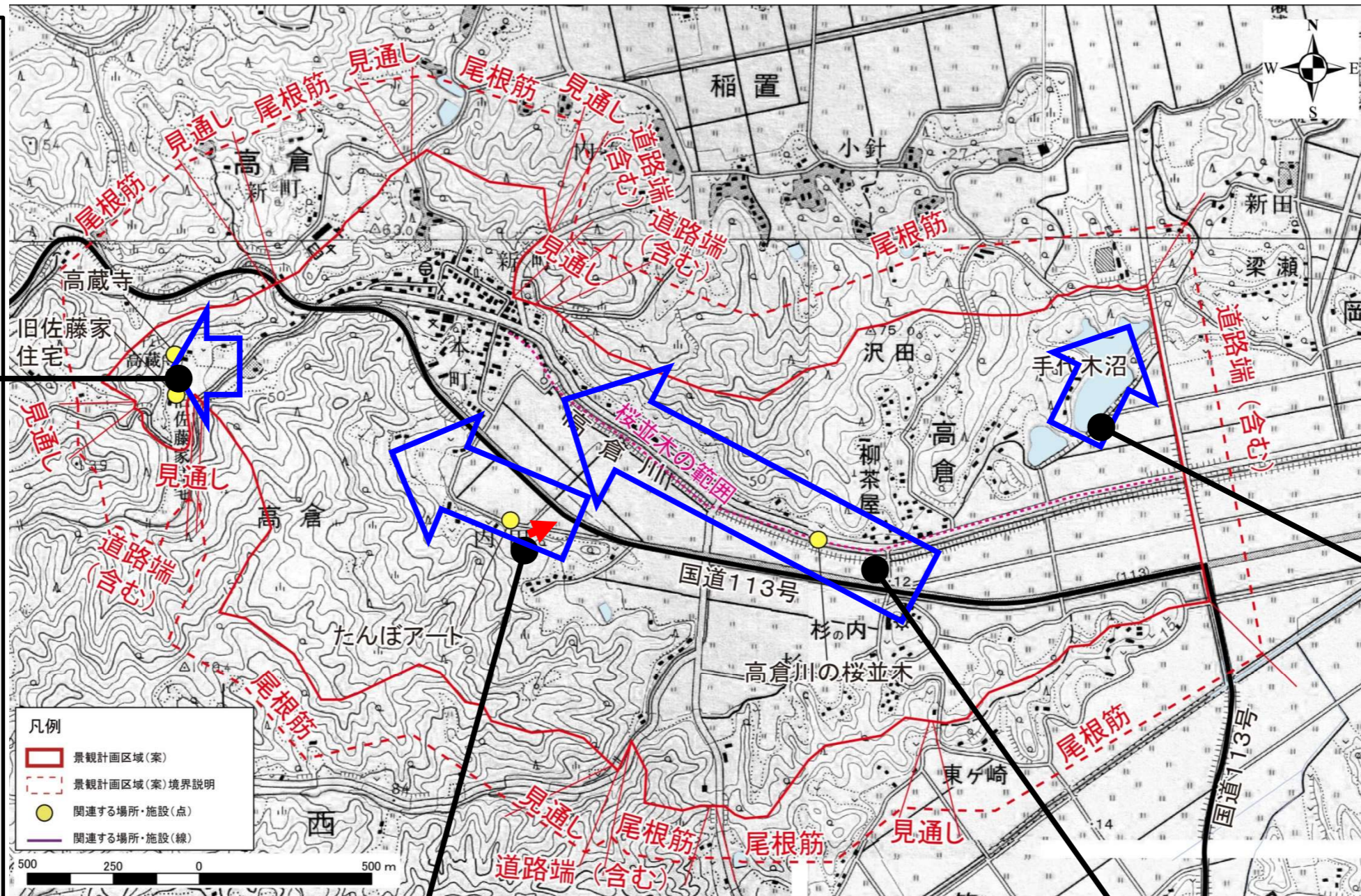
山あいにはひっそりと佇む高蔵寺は集落が誇る歴史的資源であり、付近に整備された高倉農村公園や高倉川、桜並木とともに、憩いの景観を形成している。また付近を流れる高倉川ではホタルの繁殖にも取り組んでおり、季節の景観が見られる。



▲高蔵寺阿彌陀堂



▲高倉農村公園

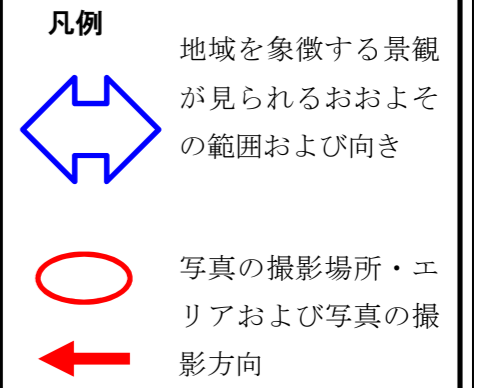


●手代木沼

周囲の水田への農業用水確保のため、約300年前に整備された人口の沼で、沼の北東側には桜が植えられ、冬は白鳥の飛来地となり、地域住民のみならず観光客も訪れる憩いの場としての穏やかな水辺景観を形成している。



▲手代木沼



●田んぼアートと里山

当該地区の平坦部は水田地帯で、毎年地元住民によって取り組まれている「田んぼアート」と東側の花壇が、広がりのある水田地帯に彩を添えている。田んぼアート南側には、当該地区をぐるりと囲む里山のふもとで山林が迫っている。向かいの里山とその手前の農村らしい集落が背景となり、一体的な農村景観を形成している。



▲田んぼアート



▲田んぼアート東側の花壇(図内赤矢印)

●高倉川沿いの桜並木

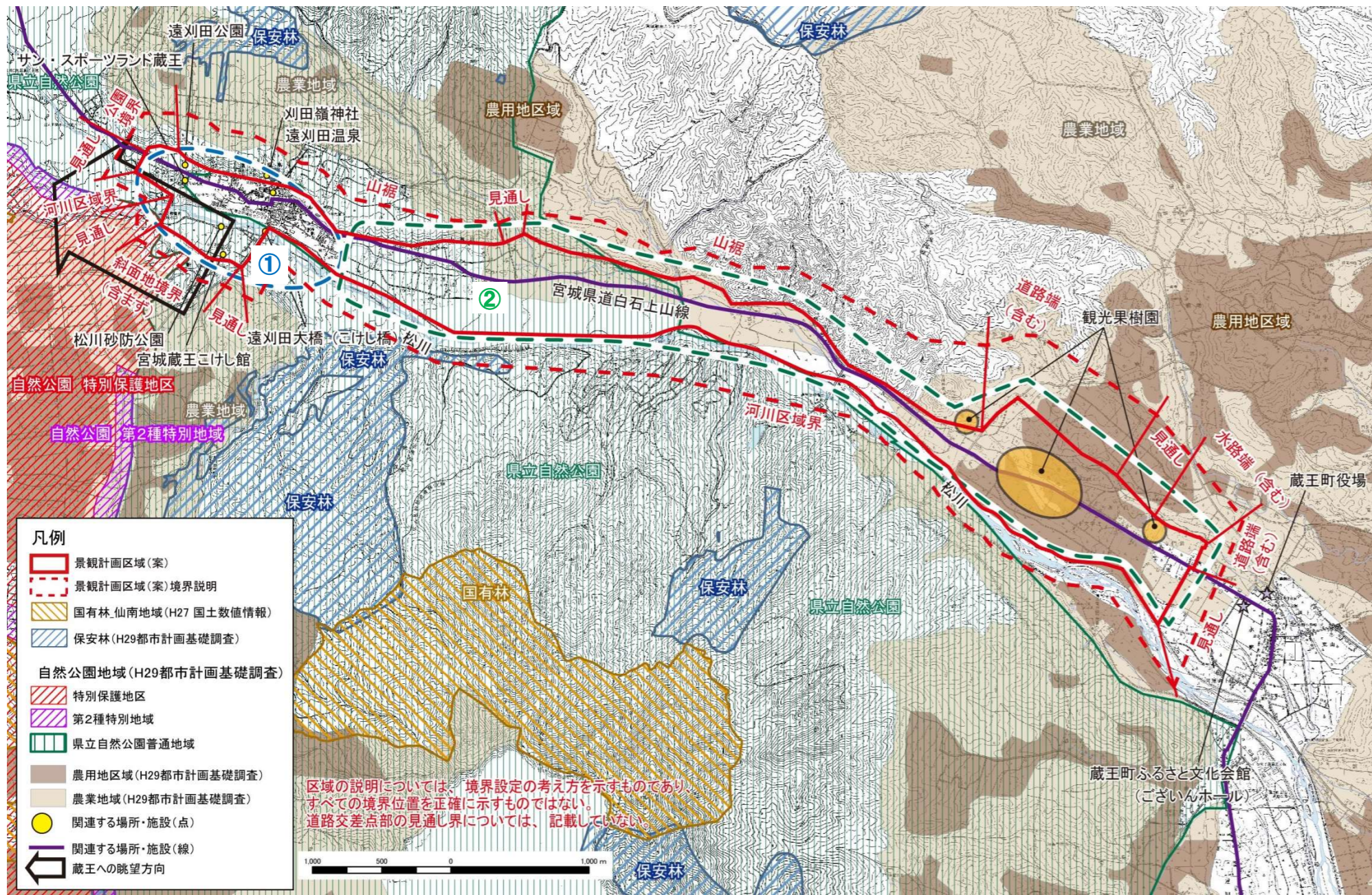
約120本の桜が川沿いに植えられ、高倉川の流れとともに春の農村らしい穏やかな景観が形成されている。川の向こう側は水田地帯で、高倉川北側は里山と農村集落が迫っており、向かいの里山までの一体的な農村景観を形成している。



▲高倉川沿いの桜並木

<b>区域名</b>	仙南地域広域景観計画区域	
<b>地区名</b>	遠刈田温泉・農村集落地区	<b>当該区域を指定する目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵王観光の拠点となる遠刈田温泉地区における歴史と賑わいが調和した景観形成を図るとともに、蔵王観光への往来を支えるネットワークを担う県道白石上山線沿いにおいて、景観形成を通して、周囲の自然や蔵王町の地域産業である果樹園等に代表される農村景観と調和した魅力ある沿道利用の誘導を図ることを目的とする。</li> <li>・観光業と農業等の一次産業が調和した蔵王町らしい景観まちづくりに向け、官民が協力・連携した取り組みへのきっかけづくりにつなげるとともに、蔵王町の中心部から蔵王観光の拠点地区である遠刈田温泉に向け、魅力を高める景観の形成を図ることを目的に、景観法に基づく景観計画区域を指定する。</li> </ul>
<b>市町名</b>	蔵王町	

<b>区域の範囲（位置図）</b>	<b>地区内で見られる景観（景観の概況）</b>
-------------------	--------------------------



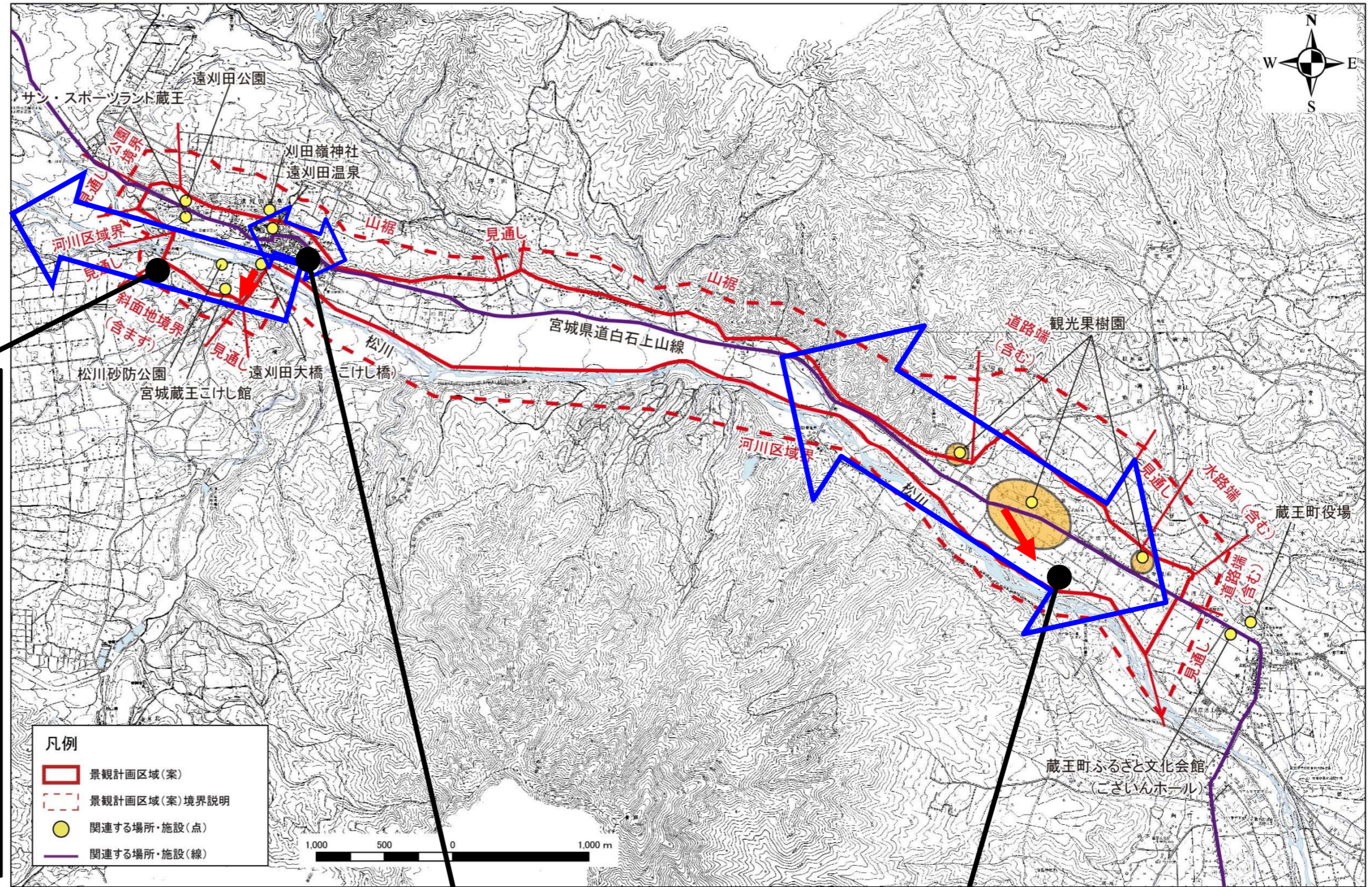
※仙南地域広域景観マスタープランの修正に伴い区域を精査

- 仙南地域らしさを象徴する景観**
- ・蔵王から白石川へと流れ込む松川沿いの段丘地では、果樹栽培がおこなわれており、蔵王町から遠刈田温泉につづく県道沿いにおいて、果樹園と集落が連続する特徴ある農村景観を形成している。
  - ・遠刈田温泉の集落では、蔵王詣での拠点として栄えた町場と、旅館や温泉施設が一体となった、蔵王山麓におけるにぎわいある町場の景観が形成されている。中心部に住宅や飲食店、土産屋などがあり、中心に公共浴場「神の湯」がある。神の湯背後には、刈田嶺神社（里宮）が鎮座する。
  - ・温泉地を抜けると松川にかかる「こけし橋」が見え、川の流れて沿って開けた先に蔵王連峰を望むことができる。
- 地区固有の景観**
- ・県道白石上山線沿道は、果物の直売所やドライブインなどがあり、その背後に山地が迫る山間部のやや狭い谷地の景観が見られる。
  - ・地区の東側では平地がやや広がり、水田や畑、住宅が見られる。川側では防風林を兼ねた高木のスギ林も点在する。
  - ・遠刈田温泉街では、通りの街並みに加え、冬場は温泉の排水によって側溝から湯気が立ち上がり、特徴的な景観をつくりだしている。

**区域設定の考え方**

- 基本的な考え方**
- 遠刈田温泉としてまとまりある市街地を形成している地区を中心に、歴史ある温泉地としての風情と蔵王観光の拠点にふさわしい賑わいが調和した景観形成を図るとともに、蔵王町の中心部からそこに至る幹線道路沿いの連続した景観の保全・形成を目指した区域を設定する。
- 個別の考え方**
- ①遠刈田温泉周辺地区**
- 温泉施設や店舗等の市街地が形成されているエリアを対象に、まとまりのある市街地景観の形成を図るため、区域に含めた。
- ②宮城県道白石上山線沿道の集落**
- 沿道の宅地利用において、周囲の自然や蔵王町らしさを醸し出す果樹園等による特徴ある農村景観と調和した整備を求めることができるよう区域を設定し、観光業と農業という地域の営みが共存する蔵王町らしさを生み出す景観まちづくりへの取り組みを図るため、区域に含めた。

区域内で見られる景観



●遠刈田大橋と蔵王連峰への眺め

遠刈田温泉街を抜け遠刈田大橋まで来ると、河川沿いに空間が開け、遠くに蔵王連峰の山容を望むことができる。遠刈田大橋には橋のもとに遠刈田温泉の工芸品であるこけしが設置され「こけし橋」とも呼ばれており、遠景に見える蔵王連峰とともに遠刈田温泉を象徴する景観が見られる。

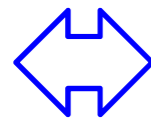


▲遠刈田大橋と蔵王連峰（図内赤矢印）

- 凡例
- 景観計画区域(案)
  - 景観計画区域(案)境界説明
  - 関連する場所・施設(点)
  - 関連する場所・施設(線)



凡例



地域を象徴する景観が見られるおおよその範囲および向き



写真の撮影場所・エリアおよび写真の撮影方向



●遠刈田温泉街

かつて蔵王詣での拠点として栄えた町場に大小の温泉宿や商店、土産屋が並び、観光地としての賑わいの景観が見られる。温泉街内は低層の建築物を中心とした街並みが形成され、周囲は山林に囲まれており、一体的な町場景観が形成されている。



▲遠刈田温泉街

●沿道に広がる果樹園

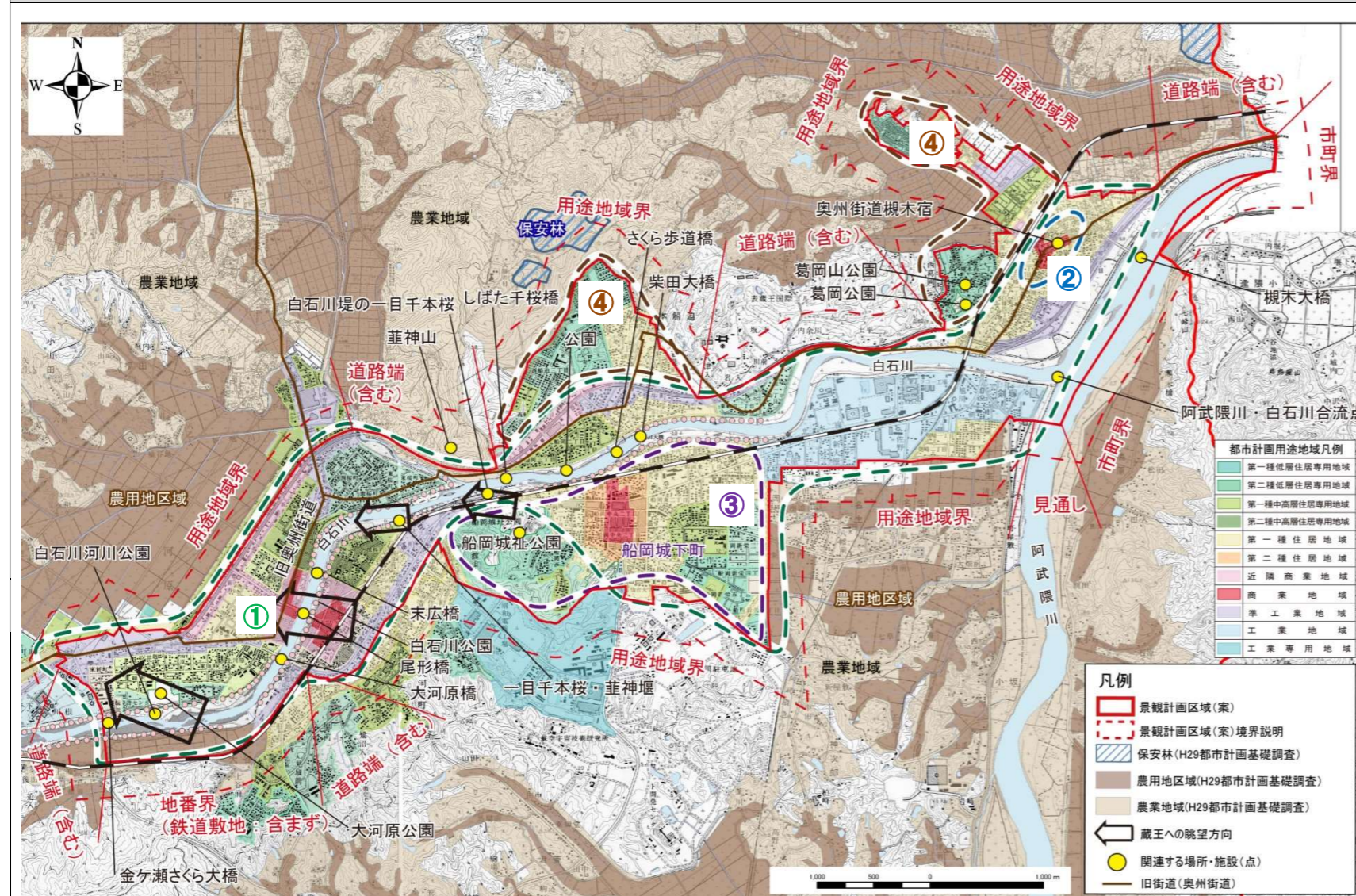
蔵王町の町場から遠刈田温泉街に向かう県道白石上山線沿いは、扇状地の中腹部で果樹園が多く、季節によって花や果実が実る風景が見られる。これらの果樹と周囲の農地や家屋、背景の里山とともに、蔵王町の地形と特産物を象徴する特徴的な農村景観を形成している。



▲沿道の果樹園（図内赤矢印）

<b>区域名</b>	仙南地域広域景観計画区域	
<b>地区名</b>	大河原町・柴田町中心部地区	<b>当該区域を指定する目的</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白石川や街道等、仙南地域の交流の拠点を支えてきた歴史性と、先人たちが作りだした美しい白石川の風景を継承するとともに、白石川の流れにより形成された平野部で発展してきた市街地を対象に、魅力ある市街地の形成を図ることを目的とする。</li> <li>・白石川沿いの市街地における官民が協力・連携した景観まちづくりのきっかけづくりにつなげるとともに、両町の顔づくりにふさわしい、一体性を持った市街地景観と河川景観の形成を図ることを目的とし、景観計画区域を指定する。</li> </ul>
<b>市町名</b>	大河原町 柴田町	

**区域の範囲（位置図）**



**地区内で見られる景観（景観の概況）**

- 仙南地域らしさを象徴する景観**
  - ・阿武隈川との合流地点よりもやや上流に位置する白石川沿いでは、河川堤防に「一目千本桜」が整備され、広がりのある川の流れと遠くに見える蔵王連峰が一体となった河川景観を形成している。
  - ・仙南地域の大動脈であるかつての奥州街道沿いには、宿場町の名残を今に伝える町並み景観が見られる。近代に入り、宿場町の脇には鉄道駅が配され、道筋も国道へと変化し、広がりのある市街地景観が形成されている。四保山の船岡城址公園からは、市街地を一望することができる。
  - ・かつて交通の要衝として栄えた船岡城下町として栄えた柴田町の中心市街地では、城下町自体に形成された町割りによる町並み景観が形成されている。
  - ・白石川の流れにより形成された平野部で発展してきた市街地のいたるところから、蔵王連峰を望むことができる。
- 地区固有の景観**
  - ・当該地区内では、白石川を横断する数々の橋があり、白石川と桜並木が連続する美しい景観が見られる。
  - ・白石川沿いでは、河川敷を活用した公園が整備されており、白石川の水面や桜並木と一体で賑わいの景観を形成している。
  - ・国道4号や鉄道駅北側に整備された新興住宅地では、整然とした市街地景観が見られる。

**区域設定の考え方**

- 基本的な考え方**

交通の要衝として栄えた船岡城下町及び仙南地域を貫く大動脈である奥州街道、それに変わる鉄道や国道沿いに広がる市街地及び白石川沿いに整備された桜並木が広がる区域を一体的な景観の保全・形成を図るとともに、「一目千本桜」を中心とした両町の顔にふさわしい賑わいが調和した景観の保全・形成を目指した区域を設定する。
- 個別の考え方**
  - ①白石川とその流れにより形成された平野部で発展した市街地**

白石川と桜並木、旧奥州街道沿いを中心に、背後に広がる平野部で発展してきた市街地については、一体的に景観の保全・形成を図るとともに、「一目千本桜」を中心とした両町の顔にふさわしい賑わいが調和した景観の保全・形成を図るため、区域に含めた。
  - ②奥州街道槻木宿周辺**

旧奥州街道の宿場町として栄えた槻木宿周辺については、当時の名残を残す町割りが形成される範囲を区域に含めた。
  - ③旧船岡城下町**

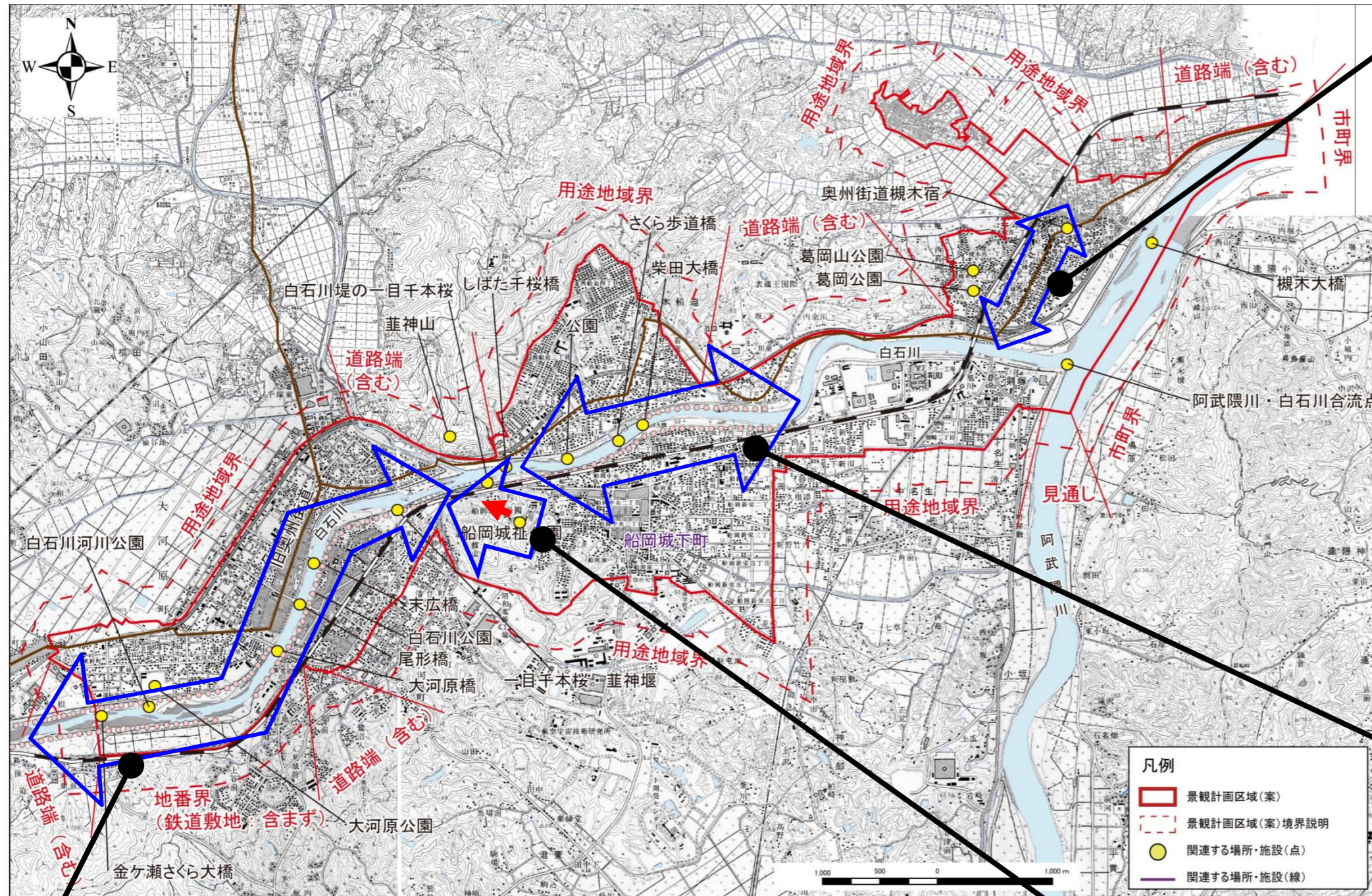
柴田町の中心市街地は、かつて交通の要衝として栄えた船岡城下町であり、その町割りを今に伝える重要なエリアであることから、船岡城が立地していた船岡城址公園を中心とした四保山と一体で景観の保全・形成を図るため、区域に含めた。
  - ④船迫・槻木の住宅団地**

近年丘陵地に整備された住宅団地については、既存の市街地景観や周辺の丘陵地の自然景観との調和を図るため、区域に含めた。

※本資料は、景観計画区域設定の考え方に特化して示したものであり、前回会議で示した景観計画の景観形成の目標像や景観形成方針等については、本資料の区域設定の考え方と合わせ、計画全体として今後示す。



区域内で見られる景観



●旧奥州街道と槻木宿

旧奥州街道が通る槻木は、旧街道沿いには飲食店や商店などが点在し、低層の建築物を中心とした街並みが形成されている。宿場町だった名残がうかがえる建築物や間口に対して奥行きがある町割など、地域の歴史性を今に伝える重要な街並み景観を形成している。



▲槻木宿の名残を伝える建物

●さくら歩道橋と一目千本桜

さくら歩道橋は、JR 東北本線を跨いで桜を見渡せるよう整備された歩道橋で、白石川の水面と桜、JR 東北本線が川沿いに走る様子、遠景に望む蔵王連峰を眺望することができる。また、川沿いに桜並木が続き、柴田町を代表する桜の名所として、憩いや賑わいの景観を形成している。



▲さくら歩道橋から見た一目千本桜と蔵王連峰

●白石川と一目千本桜

大河原町の中心を流れる白石川は、豊かな水の流れにより穏やかな水辺景観を形成している。また、春には一目千本桜と遠景に望む蔵王連峰とともに、大河原町を代表する雄大な自然景観を形成し、桜まつりでは町内外の来訪者により賑わいある景観も形成されている。



▲葦神堰から見る蔵王連峰

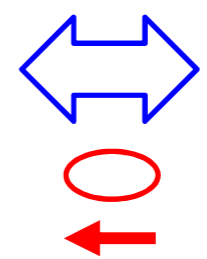
●船岡城址公園からの眺め

船岡城址公園には、柴田町のシンボルである「船岡平和観音」が鎮座しており、白石川や大河原町・柴田町を見下ろすことができ、遠景に蔵王連峰を望むことができる。桜の名所でもあり春には町内外の大勢の来訪者によってにぎわいある景観が見られる。



▲柴田町（船岡城址公園）から見た一目千本桜と蔵王連峰(図内赤矢印)

凡例



地域を象徴する景観が見られる  
おおよその範囲および向き  
写真の撮影場所・エリアおよび  
写真の撮影方向